

# 第121回 森で遊ぶ会

## 駿府城公園

日時 平成25年10月 5日 10時～11時45分 天候：晴れ

参加者 19人 女性：17人（うち1人小学生） 男性：2人

参加インストラクター 10人

担当：早川 大石 アシスト会員：青野 井上 内野 越智

小久保 杉山 高橋 藤田

おりから台風23号が沖縄付近を北上していた。直接台風による雨風はなかったが、太平洋の湿った気流が流れ込み、前日の天気予報では小雨も覚悟しなければならないものであった。幸い当日になると曇りではあるが雨の心配はなくなっていた。

東御門に集合した19名の参加者はほぼ半分に分かれ、「公園内平地コース」と「お堀沿い遊歩道コース」を散策した。森林インストラクターも各コースに5名ずつ散らばり同行した。

しばらく前までは暑い日が続いたが、ようやく暑さがおさまり秋らしい日和となった。樹木の構造、特徴、謂れ等を説明するとともに、季節の変わり目の、この季節にふさわしい、草花、木の実の観察を楽しんだ。散策の途中から青空も見え出した。樺、イチョウの緑の葉がわずかに黄色く変色し、それが青空に映えて極めて美しい光景をみせてくれた。知らぬ間に木々の色付きが始まっていたのだった。

アラカシ、シラカシの木の実、枝を十分に垂れこませる程の豊作であった。マテバシイ、スダジイ、ツブラジイはたくさん地面に落ちていた。やはり食べられるものへの関心は高く、食べられるドングリさらにはアオギリへの問い合わせが多く出された。参加者は袋にたくさん拾って、思わずの収穫に大いに喜んでくれた。

小粒で高いところにあるのでわかりにくかったが、赤く熟したエノキの実がたくさんついていた。まだ熟してはいなかったが、トウネズミモチもたわわに実っていた。

トウカエデの実が手に取れるところになっており、独特のプロペラが回転しながら飛んでゆく様子を体験した。アオギリの種も似たようなメカニズムで飛ばされてゆくのが、落葉より理解できた。ギンモクセイが咲き始めたところで、みごとな花と香りを楽しませてくれた。また、また道端には紫色のかわいいアレチノヌスビトハギが咲いていたが、うっかり、いわゆるヒツキムシの実が衣服についてしまった人もいた。

散策の途中で地元のFM放送局（FM-Hi シテーエフエム静岡）のインタビューを受け、青野インストラクターが対応してくれ、内野インストラクターが録音し、結果を会員に流してくれた。放送を聞いてくれた人は十分に「森で遊ぶ会」に関心を持ってくれたと思います。

今回、天気にもめぐまれ、恵み豊かな秋の森を楽しむことができ、参加者は十分満足してくれたと思いました。



スダジイの実に幼き頃を思い出しました



ギンモクセイの香りが漂ってました



イチョウの木 雄でも银杏の関心高かった



エノキの実、沢山食べごろでした



色づいた木々の中での樹木説明です



アオギリの実が鈴なりでした